

## 阿賀地区津波避難訓練に参加した4年生の声

### 【救急看護強化コースの学生】

**清水 奈々** さん(広島県・山陽女学園高等部出身)

災害に関する講義を行う中で、実際被害にあわれた方にもお話をすることになるので、傷つけることがないよう言葉選びに細心の注意を払いました。また今後のために少しでも活用できることを伝えられるよう意識しました。西日本豪雨災害後あまり時間が経っていない時期での訓練と講義であったため、災害への関心が高いと思いました。地域の方々と交流を通して災害時の心境もお聞きすることができたので、これからの学習につなげていきたいと思います。

**浦上 あずさ** さん(広島県・呉青山高等学校出身)

講義を行うために災害について勉強していくと、改めて新しい知識を得る機会となりました。専門用語を親しみやすい言葉で伝えるよう意識しましたが、どのように伝えることが良いのか考えるのが難しかったです。今回の訓練を受けて、日々の訓練が災害発生時迅速に行動することにつながると感じました。

### 【養護教諭コースの学生】

**竹下 良恵** さん(広島県立呉宮原高等学校出身)

養護実習で掲示物等は視覚的にわかりやすく作成する指導を受けた経験から、講義資料は写真やイラストを多く用いて見てわかりやすいよう工夫しました。養護教諭も児童生徒に様々な保健指導を行う役割があるため、良い経験となりました。また予想していた展開通りには進まないことがありましたが、同じコース学生で臨機応変に行動することができ、対応力が必要だと感じました。

**松田 雅** さん(広島県・如水館高等学校出身)

地域の方が積極的に楽しんでくださり、私も一緒に楽しみながら講義を行うことができました。講義を受けている方たちが困っていないか、広く周りを見て気配りしながら行動しなければいけないことを経験から学べたので、将来に活かしていきたいです。講義の内容は事前準備をどれかけきちんとするかで変わってくるため、しっかりとした準備が必要だと学びました。